



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月7日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東
 コード番号 4310 URL https://www.dreamincubator.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 原田 哲郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 上村 敏弘 TEL 03(5532)3200
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	28,993	11.0	1,952	-	2,002	679.8	1,453	-
2022年3月期第3四半期	26,109	31.0	12	-	256	-	41	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,702百万円 (401.0%) 2022年3月期第3四半期 339百万円 (305.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	148.97	148.49
2022年3月期第3四半期	4.33	4.27

(注) 当社は、当社の重要な連結子会社であるアイペット損害保険株式会社に関して、普通責任準備金を未経過保険料方式により算定し、異常危険準備金繰入額の影響を排除した利益（調整後利益）を損益実態を把握する上で有用な指標として第2四半期連結累計期間まで参考情報として開示しておりましたが、アイペット損害保険株式会社が当社の連結子会社から外れることが決定したため、調整後利益に基づく連結業績は非開示としております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	36,391	14,321	31.0
2022年3月期	33,574	12,454	29.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,280百万円 2022年3月期 9,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	-
2023年3月期	0.00	0.00	0.00		
2023年3月期（予想）				191.11	191.11

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期（予想）期末配当金の内訳 : 特別配当 191円11銭

期末の配当につきましては、本日（2023年2月7日）開示しました「配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社グループの事業は、ビジネスプロデュース事業及びインキュベーション事業から構成されております。ビジネスプロデュース事業は比較的将来の予測が立ちやすい一方、インキュベーション事業の一部につきましては売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただいております。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しておりますので、ご参照下さい。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	10,465,100株	2022年3月期	10,454,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	705,419株	2022年3月期	705,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	9,757,768株	2022年3月期3Q	9,693,834株

（注）当社は、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。BIP信託口及びESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 営業の状況	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(報告セグメントの変更等について)

第1四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社ワークスタイルラボ及びピークス株式会社の全株式を譲渡したため、「HRイノベーションセグメント」及び「ファンマーケティングセグメント」を報告セグメントから除外しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) II 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

(1) 経営成績に関する説明

当社及び当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は28,993百万円(前年同四半期比11.0%増)、経常利益は2,002百万円(前年同四半期比679.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,453百万円(前年同四半期比3,363.4%増)となりました。

なお、2022年11月7日付「子会社株式に対する公開買付けに係る応募契約の締結及び特別利益の計上見込みに関するお知らせ」および、2023年1月11日付「子会社株式に対する公開買付けの成立に関するお知らせ」で公表いたしました、第一生命ホールディングス株式会社による当社の連結子会社であるアイペットホールディングス株式会社に対する株式公開買付けの成立に伴い、主に証券会社や弁護士に対するアドバイザー費用等を含む公開買付関連費用177百万円を特別損失として計上しております。また、責任準備金の増加に伴い繰延税金資産を計上し、法人税等調整額△191百万円(△は益)を計上しております。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(ビジネスプロデュース事業)

ビジネスプロデュース事業では、主に大企業向けの事業創造支援や成長戦略立案支援に関する戦略コンサルティング、M&Aファイナンシャル・アドバイザーの提供、及び社会課題を解決するための新たな官民連携の仕組みであるソーシャルインパクトボンド(SIB)を活用したファンド運営をしております。

当第3四半期連結会計期間において、売上面ではクライアントの事業創造ニーズの高まりに加え、引き続き積極的な人員増強、マーケティング活動、および他業種との協業に注力した結果、売上高は第2四半期連結累計期間に引き続き好調に推移し、通期目標3,300百万円(前期比16%増)に対しての進捗率は82%となりました。一方、費用面では更なる売上拡大を見越した人員増強等の積極的な投資を行った結果、人件費・採用費等が増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,700百万円(前年同四半期は2,033百万円)、セグメント利益(営業利益)は942百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)799百万円)となりました。

(インキュベーション事業)

インキュベーション事業は、ベンチャー投資セグメント、ペットライフスタイルセグメントにより構成されております。

ベンチャー投資セグメントにおいては、スタートアップ企業等への投資育成を行っております。

当第3四半期連結会計期間においては、複数件のトレードセールによるキャピタルゲインを実現した一方で、投資先の価値下落に伴い減損も計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,914百万円(前年同四半期は772百万円)、セグメント利益(営業利益)は861百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)140百万円)となりました。

ペットライフスタイルセグメントとは、連結子会社アイペットホールディングス株式会社の中核子会社であるアイペット損害保険株式会社が運営するペット向け医療保険等を指します。

当第3四半期連結累計期間において、売上面では、アイペット損害保険株式会社の新規契約件数が堅調なペット需要を背景に順調に推移したことにより、拡大傾向が続いております。費用面では、保険契約の伸展に伴い、諸手数料及び集金費や新規契約獲得に係る事業費、ならびに正味支払保険金や損害調査費が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,378百万円(前年同四半期は20,991百万円)、セグメント利益(営業利益)は845百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)97百万円)となりました。

なお、当社は、当社の重要な連結子会社であるアイペット損害保険株式会社に関して、普通責任準備金を未経過保険料方式により算定し、異常危険準備金繰入額の影響を排除した利益(調整後利益)を損益実態を把握する上で有用な指標として第2四半期連結累計期間まで参考情報として開示しておりましたが、アイペット損害保険株式会社が当社の連結子会社から外れることが決定したため、調整後利益に基づく連結業績は非開示としております。

以上の当社及び当社グループの売上をまとめると以下のとおりです。

区分	第22期 第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		第23期 第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
ビジネスプロデュース事業 (セグメント)	2,033	7.8	2,700	9.3
インキュベーション事業	24,135	92.4	26,293	90.7
(内訳)				
ベンチャー投資セグメント	772	3.0	1,914	6.6
ペットライフスタイルセグメント	20,991	80.4	24,378	84.1
HRイノベーションセグメント	973	3.7	—	—
ファンマーケティングセグメント	1,397	5.3	—	—
セグメント間の内部売上高又は振替高	△59	△0.2	—	—
合計	26,109	100.0	28,993	100.0

(2) 財政状態に関する説明

連結貸借対照表

当第3四半期連結会計期間末における資産は36,391百万円（前連結会計年度末比2,817百万円増）、負債は22,070百万円（同950百万円増）、純資産は14,321百万円（同1,866百万円増）となっております。

前連結会計年度末比での資産の増加の主な理由は、関係会社株式売却等に伴う現金及び預金の増加等が挙げられます。

負債の増加の主な理由は、アイペット損害保険株式会社における支払備金と責任準備金の増加等が挙げられます。

純資産の増加の主な理由は、親会社株主に帰属する四半期純利益の積み上がりによる利益剰余金の増加等が挙げられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(ビジネスプロデュース事業)

売上面では2023年3月期通期で3,300百万円（前期比16%増）を計画しており、引き続き順調に推移することを見込んでおり、更なる拡大も図ってまいります。一方、市場環境を鑑みると採用強化の絶好のタイミングであることから人材増強等への投資を加速する方針で進めており、当事業の2023年3月期の営業利益が前期を下回ることも見据えておりますが、上記の方針を推進することで、より強固な収益基盤の確立をより早期に達成できると考えております。

(インキュベーション事業)

ペットライフスタイルセグメントにおいては、2022年11月7日付「子会社株式に対する公開買付けに係る応募契約の締結及び特別利益の計上見込みに関するお知らせ」および、2023年1月11日付「子会社株式に対する公開買付けの成立に関するお知らせ」で公表いたしました通り、第一生命ホールディングス株式会社による当社が保有するアイペットホールディングス株式会社の株式公開買付けが成立したため、第4四半期連結会計期間以降アイペットホールディングス株式会社は、当社の連結範囲から除外される予定です。また、第4四半期連結会計期間に181億円の特別利益の計上を見込んでおります。

ベンチャー投資セグメントにおいては、業績が株式市況等に伴い振幅することから、見通しは立てにくい状況が続くものと考えており、市況が長期的に低迷する等の状況に陥った場合は、投資先の評価減のリスクが見込まれます。

(4) 営業の状況

(生産実績)

当社及び当社グループは生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

(受注実績)

当第3四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりであります。

なお、ベンチャー投資セグメントにつきましては、受注という概念がございませんので記載しておりません。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
ビジネスプロデュース事業 (セグメント)	2,462	2,020	△17.9
インキュベーション事業	23,433	24,376	4.0
(内訳)			
ペットライフスタイルセグメント	21,061	24,376	15.7
HRイノベーションセグメント	974	—	—
ファンマーケティングセグメント	1,397	—	—
合計	25,895	26,397	1.9

(注) 各セグメントの金額は、セグメント間の取引を含んでおります。

(販売実績)

当第3四半期連結累計期間における販売実績は次のとおりであります。

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
ビジネスプロデュース事業 (セグメント)	2,700	32.8
インキュベーション事業	26,293	8.9
(内訳)		
ベンチャー投資セグメント	1,914	147.8
ペットライフスタイルセグメント	24,378	16.1
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
合計	28,993	11.0

(投資実績)

証券種類	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)
株式・出資金等	1,136	22	6,033	66	207	5	5,415	60
新株予約権等	30	1	—	5	—	—	—	4
合計	1,166	23	6,033	69	207	5	5,415	62

- (注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。
- 2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。
- 3 市場価格のない株式等以外のものについては、取得原価を記載しております。
- 4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。
- 5 当社グループは、未公開時点では投資をしていなかったPost-IP0企業の株式をIP0後に取得する場合がありますが、上表には当該投資金額及び会社数は含まれておりません。
- 6 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下のとおりであります。

前連結会計年度	当第3四半期連結会計期間
98百万円	98百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,933	17,458
受取手形、売掛金及び契約資産	5,325	4,780
営業投資有価証券	6,530	5,864
有価証券	2,767	3,023
投資損失引当金	△357	△367
棚卸資産	87	26
その他	740	720
貸倒引当金	△26	△26
流動資産合計	28,001	31,478
固定資産		
有形固定資産	916	841
無形固定資産		
のれん	814	415
その他	982	645
無形固定資産合計	1,796	1,061
投資その他の資産		
投資有価証券	354	163
繰延税金資産	2,015	2,442
その他	489	404
投資その他の資産合計	2,859	3,010
固定資産合計	5,572	4,913
資産合計	33,574	36,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	554	2
短期借入金	1,100	—
1年内返済予定の長期借入金	395	272
保険契約準備金	14,594	17,027
支払備金	2,075	2,265
責任準備金	12,519	14,761
未払法人税等	231	847
株主優待引当金	23	—
賞与引当金	283	250
その他	1,833	1,636
流動負債合計	19,017	20,037
固定負債		
長期借入金	1,648	1,018
繰延税金負債	81	542
株式給付引当金	313	418
その他	59	53
固定負債合計	2,101	2,032
負債合計	21,119	22,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,014	5,019
資本剰余金	4,458	4,548
利益剰余金	942	2,547
自己株式	△1,099	△1,374
株主資本合計	9,316	10,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	523	587
為替換算調整勘定	△61	△48
その他の包括利益累計額合計	462	538
新株予約権	3	—
非支配株主持分	2,672	3,041
純資産合計	12,454	14,321
負債純資産合計	33,574	36,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	26,109	28,993
売上原価	15,133	15,999
売上総利益	10,976	12,993
販売費及び一般管理費	10,963	11,041
営業利益	12	1,952
営業外収益		
受取利息	11	14
受取配当金	1	—
投資有価証券売却益	191	—
固定資産売却益	—	30
為替差益	—	9
その他	62	11
営業外収益合計	267	67
営業外費用		
支払利息	9	8
為替差損	4	—
固定資産除却損	0	4
価格変動準備金繰入額	2	1
その他	6	2
営業外費用合計	23	17
経常利益	256	2,002
特別利益		
関係会社株式売却益	5	546
特別利益合計	5	546
特別損失		
関係会社割増退職金	24	—
公開買付関連費用	—	177
特別損失合計	24	177
税金等調整前四半期純利益	237	2,371
法人税、住民税及び事業税	67	899
法人税等調整額	39	△191
法人税等合計	107	707
四半期純利益	130	1,664
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	210
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	1,453

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	130	1,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192	25
為替換算調整勘定	17	12
その他の包括利益合計	209	38
四半期包括利益	339	1,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259	1,529
非支配株主に係る四半期包括利益	80	172

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、時価算定会計基準適用指針の適用による、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ビジネス プロデュース セグメント	ベンチャー投資 セグメント	ペット ライフスタイル セグメント	HR イノベーション セグメント	ファン マーケティング セグメント	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	2,033	722	20,991	973	1,389	26,109	26,109	—	26,109
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	50	—	0	8	59	59	△59	—
計	2,033	772	20,991	973	1,397	26,169	26,169	△59	26,109
セグメント利益 又は損失(△)	799	140	97	△118	△240	678	678	△665	12

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△665百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ビジネス プロデュース セグメント	ベンチャー投資 セグメント	ペット ライフスタイル セグメント	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,700	1,914	24,378	28,993	28,993	—	28,993
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,700	1,914	24,378	28,993	28,993	—	28,993
セグメント利益	942	861	845	2,650	2,650	△697	1,952

(注) 1 セグメント利益の調整額△697百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での営業活動に関わる費用及び一般管理費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は2022年6月に連結子会社であった株式会社ワークスタイルラボの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より「HRイノベーションセグメント」を報告セグメントから除外しております。また、当社は2022年4月に連結子会社であったピークス株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より「ファンマーケティングセグメント」を報告セグメントから除外しております。

(重要な後発事象)

(重要な子会社等の株式の売却)

当社は、2022年11月7日開催の取締役会において、第一生命ホールディングス株式会社（以下「第一生命ホールディングス」といいます。）との間で、第一生命ホールディングスが実施する当社の連結子会社であるアイペットホールディングス株式会社（以下「アイペットホールディングス」といいます。）の普通株式及び新株予約権に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に、当社が保有するアイペットホールディングスの普通株式の全てを応募する旨を決議し、2022年11月7日に公開買付けに係る応募契約（以下「本応募契約」といいます。）を締結しておりました。

そして、2023年1月10日に本公開買付けが成立したことにより、本公開買付けの決済開始日である2023年1月17日をもって、アイペットホールディングスとその子会社であるアイペット損害保険株式会社（以下「アイペット損保」といいます。）及びペッツオーライ株式会社（以下「ペッツオーライ」といいます。）は当社の連結子会社から外れることとなりました。

1. 株式譲渡の理由

当社はインキュベーション事業の一環として2011年2月にアイペット損保への投資（現在は2020年10月1日を効力発生日とするアイペット損保単独による株式移転により設立されたアイペットホールディングスへの投資となっております。）を実行しており、当社及びアイペットホールディングスの有価証券報告書等で開示している通り、当社としての役割を果たした暁には保有する全株式を売却する方針の下で投資・支援を継続しておりました。アイペットホールディングスは当社の投資実行後から今日に至るまでに著しい成長を達成してきたことを鑑みると、当社が担うべき投資育成の使命は十分に果たされたと考えており、当社としても、同社株式を売却するのに適切なタイミングであり、かつアイペットホールディングスの成長に資するようアイペットホールディングスが次のステージの成長を迎えられる環境を整える必要があるタイミングに来ているものと認識しておりました。その一方で、アイペットホールディングスの主要子会社であるアイペット損保においては、引き続き保有契約件数の増加が継続している状況であり、持続的な成長を達成するため、また、ソルベンシー・マージン比率の良化のためには資本増強が必要である状況であることをアイペットホールディングスから共有されておりました。

当該状況下において、当社の株主価値最大化を実現しつつ、同時にアイペットホールディングスの持続的な成長を達成するためには、アイペットホールディングス株式の売却が最善の手法・タイミングであると判断したものであります。

2. 株式譲渡の相手先の名称

第一生命ホールディングス株式会社

3. 本公開買付けの日程

本応募契約の締結： 2022年11月7日
本公開買付け期間： 2022年11月8日から2023年1月10日
株式の譲渡日： 2023年1月17日

4. 異動する連結子会社等の概要

(1) アイペットホールディングスの概要

①事業内容

子会社の経営管理及びそれに付随する業務

②当社との取引内容

なし

(2) アイペット損保の概要

①事業内容

ペット向け医療保険事業

②当社との取引内容

なし

(3) ペッツオーライの概要

①事業内容

ペット健康相談及びペット関連情報プラットフォームの企画・開発・運営

②当社との取引内容

なし

5. 譲渡する株式の数、譲渡価額、譲渡損益及び譲渡後の持分比率

譲渡株式数： 6,068,004株
 譲渡価額： 215億円
 譲渡損益： 本公開買付けの成立により、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、関係会社株式売却益（特別利益）を約181億円計上する見込み
 譲渡後の持分比率： 0%

（配当予想の修正（特別配当））

当社は、2023年2月7日開催の取締役会において、未定としておりました2023年3月期の配当予想について、以下の通り決議いたしました。これに伴い、総額20億円の期末特別配当を実施する予定です。

1. 修正の内容

	年間配当金（円）				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期	期末	合計
前回予想 (2022年5月13日公表)			未定	未定	未定
今回修正予想(注)				191円 11銭	191円 11銭
当期実績	0円 00銭	0円 00銭	0円 00銭		
前期実績 (2022年3月期)	0円 00銭	0円 00銭	0円 00銭	0円 00銭	0円 00銭

(注) 配当金の総額を20億円とし、2022年12月31日現在の発行済株式数（自己株式のうち、自己名義所有株式を除く）10,465,100株で除した金額を記載しております。そのため、今後の発行済株式総数の変更等の要因により、金額は変更される可能性があります。

2. 配当予想修正の理由

2023年3月期においてアイペットホールディングス株式の売却を実行し、当社業績は過去最高となる見込みです。これに伴い、株主の皆様へ、これまでのご支援に報いるべく、株主還元の一環として特別配当を実施する予定といたしました。

（特別賞与の支給）

当社は、2023年2月7日開催の取締役会において、当社役職員に対して特別賞与を支給することを決議いたしました。これに伴い、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、約20億円を特別損失として計上いたします。なお、取締役に対する支給額のうち年間報酬枠の超過額については、2023年6月開催予定の定時株主総会での承認を条件として支給する予定です。

1. 支給の理由

2023年3月期においてアイペットホールディングス株式の売却を実行し、当社業績は過去最高となる見込みです。これに伴い株主還元を行うとともに、当社役職員にも分かち合う報酬戦略のもと、今回の賞与の支給を決定いたしました。